

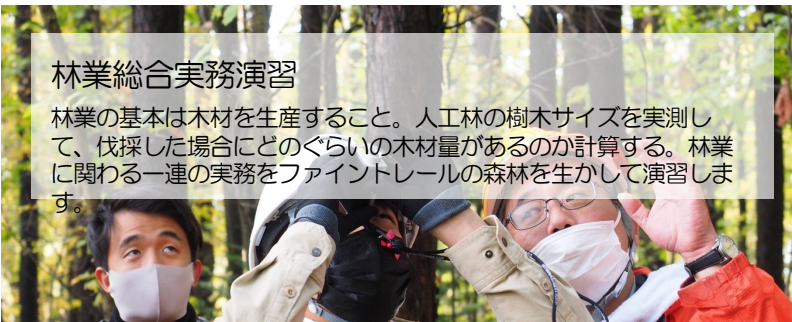
針葉樹人工林の広葉樹混交林化

針葉樹しか植えていない人工林にも、時間が経つと自然に飛んできた種から様々な樹木が侵入してきます。針葉樹だけの人工林を広葉樹も混じる多様性豊かな森林に変えていくために、卒業研究や実習では、カラマツ林やトドマツ林における広葉樹稚樹の更新状況を定期的に調べています。



鳥類の繁殖生態や採食行動

北海道の森林に生息する一般的な鳥類をほぼ観察できるので、ここで基礎的な識別力や観察法を身に付けます。樹洞性鳥類の繁殖生態や、ミスナラ堅果（どんぐり）を好むミヤマカケスの貯食行動特性などの卒業研究を行っています。



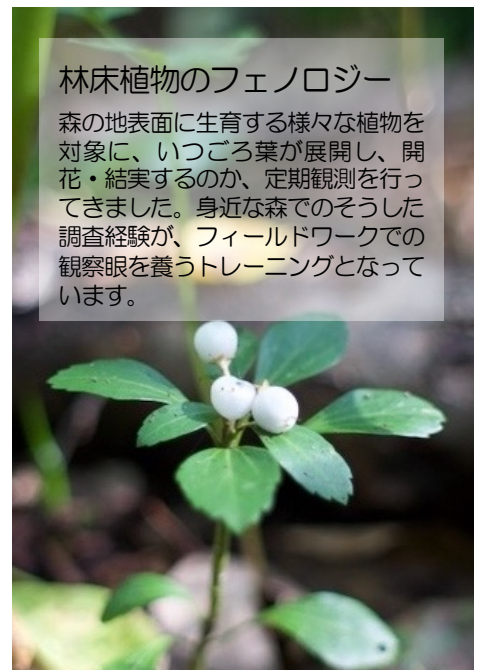
林業総合実務演習

林業の基本は木材を生産すること。人工林の樹木サイズを実測して、伐採した場合にどのぐらいの木材量があるのか計算する。林業に関わる一連の実務をファイントレールの森林を生かして演習します。



きのこの多様性

ファイントレールでは夏から秋にかけてたくさんのきのこを観察することができます。9月～11月に実施した卒業研究の調査では、91種のきのこ（子実体）が確認され、うち30種近くの食用きのこが確認されました。樹木と共生する菌根性きのこや、木材や葉を腐らせる腐生性きのこなど、様々な生活型を持つきのこがどんな環境にいつ発生するのか。ファイントレールのきのこマップをこれから充実させていきます。



林床植物のフェノロジー

森の地表面に生育する様々な植物を対象に、いつごろ葉が展開し、開花・結実するのか、定期観測を行ってきました。身近な森でのそうした調査経験が、フィールドワークでの観察眼を養うトレーニングとなっています。